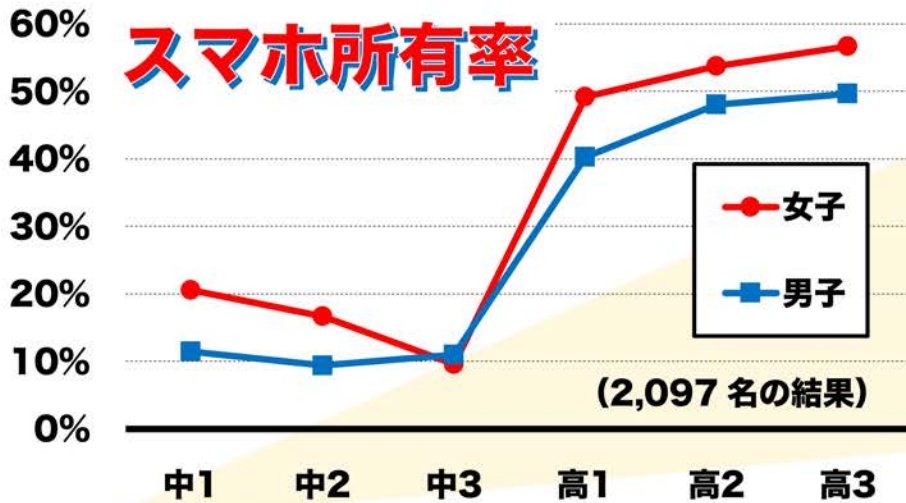


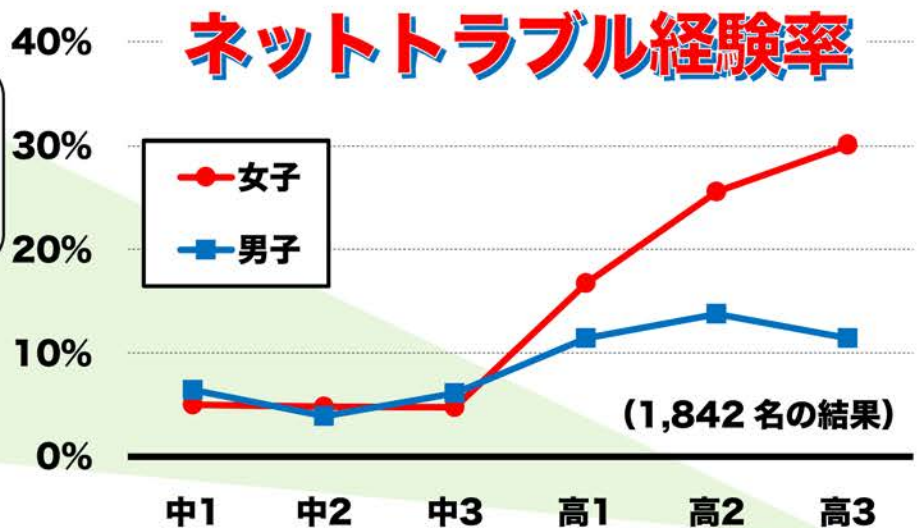
知的障害支援学校中学部&高等部生徒の スマホ所有・ネットトラブル経験 などを調査して、まとめました



男女とも、高等部から所有率が急上昇！
高校入学（高等部進学）がひとつの節目
になっているようですね。



高校部のトラブル経験率が高いですね。
特に女子生徒の上昇が気になります。
下の表組みと併せて考えると、
友人関係のトラブルは要注意ですね。



ネットトラブルの内容 (複数回答)

	中学部		高等部	
	女子 (9名)	男子 (19名)	女子 (109名)	男子 (100名)
友人関係	44%	16%	79%	68%
異性関係・わせつ関係	22%	21%	10%	8%
金銭関係 (ゲーム課金等)	11%	21%	2%	16%
無断使用・不正使用	0%	32%	6%	4%
使いすぎ (時間)	11%	11%	3%	8%
個人情報の漏洩	0%	5%	4%	5%
その他	11%	5%	4%	1%

SA*10歳台以上はネットトラブル経験率が高い!

*「S-M 社会生活能力検査」で得られる社会生活年齢



情報モラル習得の特徴は……

日本教育工学会 (JAPET) 「情報モラル指導モデルカリキュラム表」各指導分類の習得率

「4.情報セキュリティ」の習得率が低いですね。

『教育の情報化に関する手引』(文部科学省)に
情報モラル=日常モラル+情報技術の特性
 と書かれていました。

情報モラル習得のカギは、ICT機器に触れる頻度かもしれませんね。



指導分類	習得率
1. 情報社会の倫理	59%
2. 法の理解と遵守	51%
3. 安全への知恵	56%
4. 情報セキュリティ	27%
5. 公共的なネットワーク社会の構築	50%

※調査項目間で対象生徒数に変動あり (23名~103名)

これらのデータは、日本本学術振興会 平成29年度~令和元年度 学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))
 『発達アセスメント等に基づく知的障害児者向け情報モラル指導カリキュラムの開発』(課題番号:17K04909)の
 一環として、平成30年(2018年)11月に全国の知的障害特別支援学校から得られたものです。

より詳細な研究報告書はオンラインでご覧ください。http://www.tamechan.info/kakenrep2020/

研究報告書目次

- I. 研究の背景と目的(研究計画調書より)
- II. 予備調査(平成29年度)
- III. 個別調査(平成30年度)
- IV. 補足報告
 - 1. 成人期知的障害者を対象とした情報モラル指導実践事例
 - 2. プログラミング教育に関する調査
- V. まとめと総合考察(令和元年度)
- VI. 学会等発表リスト
- VII. 引用・参考文献



科研費
KAKENHI



TOHOKU
UNIVERSITY

ためかわ ゆうじ

(本件に関する連絡先) 爲川 雄二(東北大学大学院教育学研究科) tamechan@tohoku.ac.jp